

平成27年度全国学力・学習状況調査の概要について

■ 教科に関する調査結果

(平均正答率 単位%)

	小学校第6学年					中学校第3学年				
	国語		算数		理科	国語		数学		理科
	A	B	A	B		A	B	A	B	
全国	70.0	65.4	75.2	45.0	60.8	75.8	65.8	64.4	41.6	53.0
埼玉県	68.7	64.2	73.1	43.1	59.2	74.9	64.7	63.2	40.4	51.6
戸田市	69.3	67.0	75.0	45.4	61.2	76.0	65.0	64.9	41.3	52.6

【小学校】国語B、算数B、理科で全国平均を上回っている。国語A、算数Aを含め、全て県平均は上回っているが、これまでと比較するとその差が縮まっている。

【中学校】国語A、数学Aで全国平均を上回っている。国語B、数学B、理科は全国平均を下回っているが県平均は上回っており、全体として大きく改善している。

(1) 国語について

小学校では、主に知識に関するA問題及び主に活用に関するB問題ともに県平均を上回っている。全国平均との比較では、ほぼ変わらない数値であるものの、A問題でわずかながら下回っている。基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得できるよう指導を充実させる必要がある。

中学校では、A問題は全国及び県平均を上回っているが、B問題は県平均を上回ったものの全国平均は下回っている。基礎的・基本的な知識及び技能について、概ね習得しているが、活用する力の育成をより一層図っていく必要がある。

(2) 算数・数学について

小学校では、算数Aについて、戸田市は全国平均を若干下回っているが、県平均を上回っている。算数Bについては、戸田市は全国及び県平均を上回っている。基礎的・基本的な知識及び技能の定着が図られていること、活用する力の習得が図られていることがうかがえる。しかし、昨年度は算数A・Bともに全国及び県平均を上回っていたことから、より一層の指導の充実が必要である。

中学校では、数学Aで全国及び県平均を上回っている。数学Bでは県平均を上回っているものの、全国平均を若干下回っている。基礎的・基本的な知識及び技能については昨年度から改善が見られるものの、習得した知識及び技能を活用する力の伸長が図られるように指導を充実させていく必要がある。

(3) 理科について

理科は、主として「知識」に関する問題と、主として「活用」に関する問題の両方を合わせて出題している。

小学校では、県平均、全国平均をともに上回っている。学習した内容を日常生活に適用して答える問題が多く、学習指導に当たっては知識や経験を日常生活へ適用する場면을意図的に設定することが重要である。

中学校では、県平均を上回っているが、全国平均はわずかに下回っている。第1分野と第2分野を横断した総合的な見方や考え方ができるようにすることが大切である。

■ 児童生徒質問紙調査結果

ア 児童質問紙調査 (小学校)

- ・月～金曜日における学校の授業以外の学習時間（学習塾や家庭教師含む）については、2時間以上の児童が29.9%であり、全国・県より高い。（全国25.7%、県25.7%）
- ・「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」について、「している」「どちらかといえば、している」の合計が70.7%であり、全国・県より高い。（全国62.8%、県70.1%）
- ・「友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか」について、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計が48.8%であり、全国・県より低い。（全国51.2%、埼玉県52.5%）

イ 生徒質問紙調査 (中学校)

- ・「数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の合計が72.7%であり、全国・県より高い。（全国69.8%、埼玉県71.7%）
- ・「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか」について、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計が38.2%であり、全国・県より高い。（全国32.9%、埼玉県38.0%）
- ・「今住んでいる地域の行事に参加していますか」について、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計が35.5%であり、全国・県より低い。（全国44.8%、埼玉県43.0%）